

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／特殊型（ブル・ベア型）	
信託期間	2018年6月8日から2020年6月10日まで	
運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	<p>円建の外国投資信託「バッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券」および国内投資信託「マネーアカウントマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。</p>	
	バッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	<p>主として円建の日本国債を投資対象とします。</p> <p>J Pモルガンチェースバンク N. A. ロンドン支店、または J Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。</p> <p>スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR・ゴールド・シェアの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	<p>わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。</p>
組入制限	<p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。</p> <p>株式への直接投資は行いません。</p> <p>外貨建資産への直接投資は行いません。</p>	
	バッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	<p>店頭オプション、上場オプション、ETFに原則として直接投資は行いません。</p> <p>有価証券の空売りは行いません。</p>
	マネーアカウントマザーファンド	<p>株式への投資は行いません。</p> <p>外貨建資産への投資は行いません。</p>
分配方針	<p>分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>	

T&Dダブルブル・ベア・シリーズ6 (金・ダブルブル6)

第1期運用報告書（全体版） (決算日 2019年6月10日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ6（金・ダブルブル6）」は、2019年6月10日に第1期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒108-0014 東京都港区芝5-36-7

お問い合わせ先

投信営業部 03-6722-4810

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

<https://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債先物比率	パッシブ・トラスト・ゴールド2xプル・ファンドクラスB証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率				
設定日 2018年6月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	% —	百万円 1
1期(2019年6月10日)	9,538	0	△4.6	—	—	93.1	174

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、香港証券取引所上場の代表的な金ETFの日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率	パッシブ・トラスト・ゴールド2xプル・ファンドクラスB証券組入比率
	騰落率	騰落率			
設定日 2018年6月8日	円 10,000	% —	% —	% —	% —
6月末	9,264	△7.4	—	—	92.7
7月末	8,803	△12.0	—	—	92.9
8月末	8,464	△15.4	—	—	93.1
9月末	8,258	△17.4	—	—	92.9
10月末	8,609	△13.9	—	—	93.0
11月末	8,533	△14.7	—	—	93.1
12月末	8,912	△10.9	—	—	93.2
2019年1月末	9,566	△4.3	—	—	93.3
2月末	9,674	△3.3	—	—	92.6
3月末	9,402	△6.0	—	—	92.9
4月末	8,908	△10.9	—	—	93.0
5月末	8,822	△11.8	—	—	92.7
期末 2019年6月10日	9,538	△4.6	—	—	93.1

(注) 基準価額は1口当たり。期末基準価額は分配金込み。騰落率は設定日比。

(注) 設定日の基準価額には、当初元本を用いております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、香港証券取引所上場の代表的な金ETFの日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額等の推移



設定日：10,000円

第1期末：9,538円（既払分配金0円）

騰落率：△4.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2018年6月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
- (注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

「パッシブ・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券」への投資を通じて、日々の基準価額の値動きが、香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR・ゴールド・シェアの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。SPDR・ゴールド・シェアが上昇したものの、上昇・下落を繰り返したことなどにより、基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

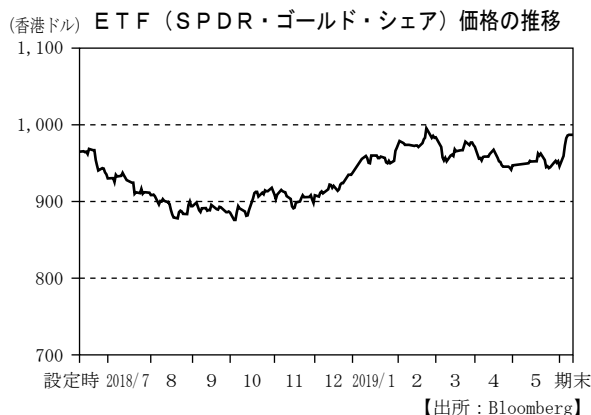
■ 組入ファンドの当期中の騰落率

組入ファンド	騰落率
パッシブ・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	△4.4%
マネーアカウントマザーファンド	△0.1%

■ 投資環境

【金市況】

期初から2018年8月上旬にかけては、堅調な米国経済環境を背景にF R B（米連邦準備制度理事会）が追加利上げに積極的な姿勢を示したことから米ドル高が進行し、金価格は下落しました。8月下旬には、トランプ米大統領によるF R Bの利上げ批判等を受け小反発しましたが、その後は方向感に乏しく10月半ばにかけて横ばいで推移しました。2019年2月中旬にかけては、イタリアを巡るユーロ圏の混乱や世界的な株安の進行、米政府機関の一部閉鎖を受けたトランプ大統領の政権運営への不安などを材料に上昇基調で推移しました。2月下旬には、米中貿易摩擦を巡る過度な懸念の後退を受けて米ドル高となったことから下落しましたが、5月半ばにかけては、レンジ内でもみ合う展開となりました。5月下旬から期末にかけては、世界経済成長の鈍化懸念や米国の貿易交渉に対する強硬姿勢などを受けて米長期金利が大幅低下し、またF R B高官が相次いで利下げの可能性について言及したことから、米ドル安が進行したため金価格は反転上昇しました。



【国内短期金融市況】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の $\Delta 0.13\%$ から期末は $\Delta 0.15\%$ となりました。需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

【当ファンド】

期を通じて、「パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券」を高位に組入れました。組入比率は、追加設定・解約や組入投資信託証券の価格の変動による運用資産の増減はありましたが、概ね高位で推移しました。残りの資産につきましては、「マネーアカウントマザーファンド」およびコールローン等で運用を行いました。

【パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR・ゴールド・シェアの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。

【マネーアカウントマザーファンド】

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 分配金

1口当たりの分配金（税込み）は、基準価額水準、市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■ 今後の運用方針

【当ファンド】

「パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券」の組入比率を高位に保ち、「マネーアカウントマザーファンド」への投資も継続する方針です。

【パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券】

主として日本国債等の現物資産へ投資する一方で、JPモルガンチェースバンクN. A.などを相手方とするスワップ取引（元本交換を伴わない）を高位に組入れ、実質的に日々の基準価額の値動きが、香港証券取引所上場の代表的な金ETFであるSPDR・ゴールド・シェアの日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を継続する方針です。

【マネーアカウントマザーファンド】

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1口当たりの費用明細 (2018年6月8日から2019年6月10日まで)

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2018/6/8～2019/6/10		
	金額	比率	
平均基準価額	8,934円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬	82円	0.915%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(39)	(0.436)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(39)	(0.436)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.044)	運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.016)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、金銭信託に係る手数料
合計	83	0.932	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況 (2018年6月8日から2019年6月10日まで)

(1) 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国 (邦貨建)	パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	29,730	268,270	12,740	118,739

(注) 金額は受渡代金。単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
マネーアカウントマザーファンド	19	20	—	—

(注) 単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2018年6月8日から2019年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2018年6月8日から2019年6月10日まで)

設定時残高 (元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
千円 1,100	千円 —	千円 1,100	千円 —	当初設定時における取得およびその処分

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2019年6月10日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末	
	口 数	評 価 額
パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	16,990	162,453

(注) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種 類	当 期 末	
	口 数	評 価 額
マネーアカウントマザーファンド	19	19

(注) マネーアカウントマザーファンド全体の受益権口数は360,783口です。

(注) 単位未満は切捨て。

投資信託財産の構成 (2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
パッシブ・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券	162,453	92.7
マネーアカウントマザーファンド	19	0.0
コール・ローン等、その他	12,857	7.3
投資信託財産総額	175,329	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	175,329,683円
コール・ローン等	12,855,907
パッシブ・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券(評価額)	162,453,792
マネーアカウントマザーファンド(評価額)	19,984
(B) 負 債	821,043
未 払 解 約 金	113,560
未 払 信 託 報 酬	694,285
未 払 利 息	27
そ の 他 未 払 費 用	13,171
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	174,508,640
元 本	182,970,000
次 期 繰 越 損 益 金	△ 8,461,360
(D) 受 益 権 総 口 数	18,297口
1 口 当 たり 基 準 価 額(C/D)	9,538円

(注) 設定時元本額 1,100,000円
 期中追加設定元本額 318,450,000円
 期中一部解約元本額 136,580,000円

(注) 元本の欠損
 当期末現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は
 8,461,360円です。

(注) 1口当たり純資産額は9,538円です。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)および費用控除後の有価証券売買等損益(8,140,183円)より、分配対象収益は8,140,183円(1口当たり444円)となりましたが、当期の分配は見送らせていただきました。

損益の状況

当期 自2018年6月8日 至2019年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 收 益	△ 4,738円
支 払 利 息	△ 4,738
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	9,330,420
売 買 益 損	13,570,839
△ 4,240,419	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,190,237
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	8,135,445
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 16,596,805
(配 当 等 相 当 額)	(△ 7,145)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 16,589,660)
(F) 合 計(D+E)	△ 8,461,360
(G) 收 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	△ 8,461,360
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 16,596,805
(配 当 等 相 当 額)	(△ 7,145)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 16,589,660)
分 配 準 備 積 立 金	8,140,183
繰 越 損 益 金	△ 4,738

(注) 損益の状況の中で

(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

分配金のご案内

分配金および分配原資の内訳 (単位：円・％、1口当たり・税引前)

項目	当期
	2018年6月8日 ～2019年6月10日
当期分配金	0
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	444

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

補足情報

マネーアカウントマザーファンドにおける主要な売買銘柄

当期における売買はありません。

マネーアカウントマザーファンドの組入資産の明細

当期末における組入れはありません。

組入投資信託証券の内容

パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

分 類	ケイマン籍／外国投資信託／円建
運用の基本方針 主な投資対象	主として円建の日本国債およびスワップ取引に投資を行い、安定的なインカム収益の獲得と信託財産の成長を目指して運用を行います。 主として円建の日本国債を投資対象とします。 スワップ取引等のデリバティブの利用はヘッジ目的に限定しません。
投資態度	①主として円建の日本国債を投資対象とします。 ②J PモルガンチェースバンクN. A. ロンドン支店、またはJ Pモルガンチェースグループに属する金融機関をカウンターパーティとしたスワップ取引を行います。概ね純資産相当額程度で行うものとします。 ③スワップ取引を利用して、実質的に日々の基準価額の値動きが以下の通りとなる投資成果を目指して運用を行います。 【ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券】 香港証券取引所上場の代表的な金E T FであるS P D R・ゴールド・シェアの日々の騰落率の概ね2倍程度 資金動向や市況動向等によっては、上記のような運用が行われない場合があります。
主な投資制限	①店頭オプション、上場オプション、E T Fに原則として直接投資を行いません。 ②有価証券の空売りは行いません。 ③純資産総額の10%を超える借入れは行いません。 ④一発行会社の発行済株式総数の50%を超えて、当該発行会社の株式に投資しません。 ⑤流動性に欠ける資産の組入れは15%以下とします。 ⑥運用会社および管理会社は、自己または投資信託受益証券以外の第三者の利益を図る目的で行う取引等は行いません。
決 算 日	6月30日
分 配 方 針	原則として、年1回分配を行います。
投資運用会社 管 理 会 社	J. P. モルガン・マンサール・マネジメント・リミテッド

※「パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド - クラスB証券」は、円建ての外国投資信託「パッシム・トラスト」のサブファンドです。次頁以降の記載は、「パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド」の状況です。

※次ページ以降の記載は、J Pモルガン証券株式会社より入手した情報をもとに作成しております。(1)は入手可能な直近の監査済報告書を当社が一部和訳したもの、(2)は保有明細をもとに当社が作成したものです。当社は、その内容の正確性・完全性を保証するものではありません。

パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド

(1) 損益計算書

計算期間：2017年7月1日～2018年6月30日

単位：千円

収益	
投資に係る実現損益	54,191
受取利息（アモチゼーションによるものを含む）	(1,426)
収益合計	52,765
費用	
管理報酬	2,280
監査費用	260
保管費用	262
投資運用会社報酬	(3,103)
取引費用	1,002
受託手数料	320
弁護士報酬	531
その他費用	558
運用費用合計	2,110
税引前損益	50,655
源泉徴収税	(73)
運用による純資産増減額	50,582

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

(注) 「パッシム・トラスト - ゴールド 2x ブル・ファンド」における「クラスB証券」の決算期末の持分比率は28.0%です。
なお、持分比率は監査済報告書の情報をもとに当社が算出したものです。

(2) 組入資産の明細

作成基準日：2018年6月30日

債券現物

単位：円

銘柄名	利率	償還日	額面	評価額
第116回利付国債（5年）	0.2%	2018/12/20	150,000,000	150,232,500
合計				150,232,500

スワップ

単位：円

想定元本額	評価額
227,850,000	(15,197,595)

(注) 日付は現地基準です。

(注) () 書きは負数です。

マネーアカウントマザーファンド

運用報告書（全体版） 第19期（決算日 2019年6月10日）
（計算期間 2018年12月11日から2019年6月10日まで）

「マネーアカウントマザーファンド」は、2019年6月10日に第19期決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は原則無期限です。
運用方針	安定した収益の確保を目標として運用を行います。
主要運用対象	わが国の国債、公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

最近5期の運用実績、基準価額の推移等

最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	債先物比率	純資産総額
	円	騰落中率 %			
15期（2017年6月12日）	10,029	△0.0	—	—	百万円 922
16期（2017年12月11日）	10,026	△0.0	—	—	601
17期（2018年6月11日）	10,022	△0.0	—	—	490
18期（2018年12月10日）	10,019	△0.0	—	—	170
19期（2019年6月10日）	10,014	△0.0	—	—	361

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 先物比率＝買建比率－売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	債券組入比率 %	債券先物比率 %
		%		
期首 (前期末) 2018年12月10日	10,019	—	—	—
12月末	10,018	△0.0	—	—
2019年1月1日	10,018	△0.0	—	—
2月末	10,017	△0.0	—	—
3月末	10,016	△0.0	—	—
4月末	10,016	△0.0	—	—
5月末	10,015	△0.0	—	—
期 末 2019年6月10日	10,014	△0.0	—	—

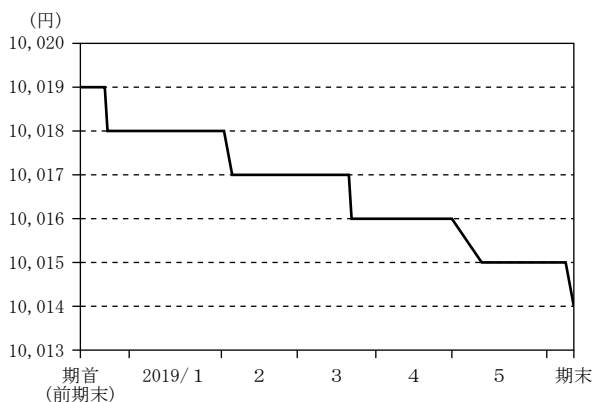
(注) 基準価額は1万円当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは安定した収益の確保を目指すファンドであり、ベンチマークおよび参考指数はありません。

当期の運用状況と今後の運用方針

■ 基準価額の推移



■ 基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の10,019円から期末は10,014円となりました。運用対象であるコールローン等の利回りがマイナスで推移したことにより下落しました。

■ 投資環境

【国内短期金融市場】

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期首の△0.23%から期末は△0.15%となりました。需給悪化懸念や日銀の国庫短期証券買入オペ動向を巡る不透明感などが金利上昇要因となり、海外勢による需要や担保需要などが金利低下要因となりました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

国庫短期証券の利回りがマイナスで推移したため組入れを見送り、期を通じて組入比率は0%としました。資産については、全額コールローン等で運用を行いました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

■ 今後の運用方針

日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率は緩やかに上昇していくことが見込まれるものの、依然、基調的なインフレ圧力は弱く、インフレ期待が急速に高まる可能性は低いとみられます。こうしたなか、日銀の「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」が金利抑制要因として作用することから、国内短期金利は低位で推移すると予想します。

相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

1万口当たりの費用明細 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

費用の明細

項目	当期	
	2018/12/11～2019/6/10	
	金額	比率
平均基準価額	10,016円	
その他費用 (その他)	0円 (0)	0.003% (0.003)
合計	0	0.003

(注) その他費用のその他は、金銭信託に係る手数料です。

売買および取引の状況 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期における売買はありません。

利害関係人との取引状況等 (2018年12月11日から2019年6月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

組入資産の明細 (2019年6月10日現在)

当期末における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2019年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	361,305	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	361,305	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および基準価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年6月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	361,305,502円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	361,305,502
(B) 負 債	759
未 払 利 息	759
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	361,304,743
元 本	360,783,372
次 期 繰 越 損 益 金	521,371
(D) 受 益 権 総 口 数	360,783,372口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,014円

(注) 期首元本額 169,872,871円
 期中追加設定元本額 699,225,262円
 期中一部解約元本額 508,314,761円

(注) 1口当たり純資産額は1,0014円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本の内訳

T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)円ヘッジ・コース	29,766,730円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドル・コース	3,880,650円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)米ドルベア・コース	770,919円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロ・コース	134,373円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)ユーロベア・コース	1,104,002円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドル・コース	21,730,819円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)豪ドルベア・コース	71,007円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)リアル・コース	9,250,125円
T&D通貨トレード新興国社債ファンド(毎月分配型)インドネシアリアル・コース	197,125円
T & D J リートファンド限定追加型 1 4 0 2	488,474円
リビング・アース戦略ファンド(年2回決算コース)	99,632円
リビング・アース戦略ファンド(年4回決算コース)	99,632円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(インド・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(インド・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(中国・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(中国・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(リアル・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(リアル・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(金・ダブル6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(金・ダブルベア6)	19,957円
T&Dダブル・ベア・シリーズ6(マネーボール6)	293,030,228円

損益の状況

当期 自2018年12月11日 至2019年6月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 100,141円
支 払 利 息	△ 100,141
(B) そ の 他 費 用	△ 6,952
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 107,093
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	318,965
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,124,738
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 815,239
(G) 合 計 (C + D + E + F)	521,371
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	521,371

(注) 損益の状況の中で

(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(F)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差引いた差額分をいいます。